



# 智頭町・旧那岐小学校利活用 コミュニティ施設計画書

2019年1月31日

## 目次

1. 事業概要
2. 打ち合わせ履歴
3. 事前調査・ヒアリング結果
4. ワークショップについて
5. 総括

## 1. 事業概要

事業名称 智頭町・旧那岐小学校 旧那岐小学校コミュニティ施設計画策定

### 事業概要と目的

廃校になった智頭町・旧那岐小学校の利活用方法について、下記の項目に留意し、住民の方の意見、想いを抽出し、専門家の視点で、コミュニティ施設計画策定を行う。

1. 暮らしの不安の解消、地域活性化に結び付く仕組みづくりワークショップの開催
2. 那岐地区住民を対象とした地域運営に向けてのニーズ調査

対象地住所 〒689-1451, 鳥取県八頭郡智頭町大背205番地

各集落の廃校について、地域で計画を立て運用していくことが、智頭町の方針。

それぞれの集落に必要なものを住民主体で計画し、また、運用していける計画を策定する。

地域の皆さんが描くイメージや夢が、具現化するイメージが持て、それが持続可能なプランとなるようにサポートする

## 2. 打ち合わせ履歴

平成30年5月25日 打ち合わせ（智頭町総合案内所2階）

平成30年6月11日 ヒヤリング

平成30年7月23日 打ち合わせ

平成30年7月28日 那岐フェスタ（豪雨災害により中止）

平成30年8月16日 打ち合わせ

平成30年8月24日 ヒヤリング調査

平成30年8月25日 かんがえ地蔵まつり

平成30年9月11日 打ち合わせ

平成30年10月15日 打ち合わせ

平成30年10月24日 会場打ち合わせ

平成30年11月4日 ワークショップ開催

平成30年11月18日 産業文化祭 ワークショップ内容掲示

平成31年1月31日 計画提出

### 3. 事前調査・ヒアリング結果

#### 沿革

- 1875年（明治8年） 6月 - 五月田学校を開設。
- 1876年（明治9年） 2月 - 鴻恩小学を開設。
- 1878年（明治11年） - 五月田学校を大背小学校と改称。
- 1883年（明治16年） 5月 - 大背小学校が鴻恩小学の分校となり、大背分校と改称。
- 1887年（明治20年） - 鴻恩小学を早瀬尋常小学校と改称、簡易科を併置。
- 1887年（明治20年） 6月 - 大背分校が大背簡易小学校となる。
- 1889年（明治22年） 3月 - 早瀬尋常小学校が簡易小学校となる。
- 1891年（明治24年） - 大背簡易小学校が尋常小学校となる。
- 1892年（明治25年） 8月 - 早瀬簡易小学校が尋常小学校となる。
- 1907年（明治40年） 4月 - 早瀬・大背尋常小学校を統合し那岐尋常高等小学校を開設。
- 1941年（昭和16年） 4月1日 - 国民学校令により那岐国民学校と改称。
- 1947年（昭和22年） 4月1日 - 学制改革により智頭町立那岐小学校と改称。
- 1994年（平成6年） 4月 - 新校舎が完成。
  
- 2003年（平成19年） 那岐保育園閉園
- 2012年（平成24年） 那岐小学校閉校
- 2013年（平成25年） いざなぎ振興協議会  
公民館 移転
  
- 2015年（平成27年6月） タルマーリー営業開始
- 2015年（平成27年9月） 株式会社shinrish（2018年12月記号株式会社に社名変更）  
利用開始
- 2016年（平成30年2月） 株式会社LASSIC利用開始

#### 建物概要

平成4年度改築

木造2階建て

1階 1128.6292㎡

2階 869.1448㎡

## 関係団体（順不同）

- ・ 小学校支部
- ・ 中学校支部
- ・ 那岐福寿会連合会
- ・ 那岐地区社会福祉会
- ・ 那岐地区同和推進協議会
- ・ 那岐地区公民館
- ・ いざなぎ振興協議会
- ・ 那岐神社獅子舞保存会
- ・ 地区婦人会
- ・ 那岐財産区
- ・ 交通安全協会那岐支部
- ・ 那岐山を守る会

## 周辺施設・利用企業

### **タルマーリー**

<https://www.talmary.com/>

2008年、渡邊格&麻里子が夫婦共同経営で、千葉県いすみ市で開業。自家製酵母と国産小麦だけで発酵させるパンづくりを始める。そして、酒種をつくるための麴菌も自家採取し始めたことで、素材の栽培方法が発酵に表れる、つまり自然栽培（無肥料無農薬）の素材が一番良く発酵することに気づく。

2011年の東日本大震災と福島第一原発事故の後、より良い水を求め岡山県に移転し、天然麴菌の自家採取に成功。そして、「パンを作れば作るほど、地域社会と環境が良くなっていく」事業を目標に、ロール製粉機を導入し、地元産の小麦を自家製粉してパンや焼き菓子の材料に使い始める。

さらに、パンで積み上げてきた発酵技術を活かし、野生酵母だけで発酵させるクラフトビール製造を実現するため、2015年鳥取県智頭町へ移転。元保育園を改装し、パン、ビール、カフェの3本柱で事業を展開。

「地域の天然菌×天然水×自然栽培原料」

「今ここで、タルマーリーにしかつくりえないパンとビール」



天然菌による発酵を起点とした地域内循環の実現こそ、タルマーリーの集大成と考え、智頭の里山の恵みを最大限に活かした加工と、それを楽しむ最高の場づくりを目指す。

## 株式会社LASSIC

<https://www.lassic.co.jp/>

(1) 『智頭町テレワーク「スキマワーク」』プロジェクトを発足  
全国で地方創生企画を手掛ける富士ゼロックスが、基本コンセプト設計を担当。

(2) LASSICが、那岐地区を中心とした智頭町の人材を採用し「クラウド会計ソフト、freee」運用業務を実施、及び「スキマワーク」体制構築と人材教育を行い、「フルタイムワーク雇用」創出も目指す。

## 各室の既存利用方法

**1階**

**多目的ホール** (30~80人)

- 公式な場
- 総会(公民館・福寿会) 4~50人
- 合同部会
- 月見花見・旧正月の会 50人
- 産業文化祭
- 写真展
- 出張〇〇販売会
- 選挙
- 議員 議会報告会
- 避難所
- お祝い会
- お化け屋敷(PTA) 20人
- 体操教室(福祉課) 20人
- 敬老会のむかえ室
- シニアのむかえ室
- 消防のイロ
- ミニデイ
- 婚活の集場所
- もちつき
- etc

**中会議室** (~20人)

- 各会議 (消防・財産区・PTA等)
- 婚活説明会
- 避難訓練 総本部
- 文化祭出店

**家庭科室**

→ 調理場

- こども会(2F)
- 福寿会 料理教室(4)
- 婦人会 どうぞ
- 郷土料理取材
- 食生活改善推進委員会 10人
- 保護者 調理
- BBQ
- 給食サービス ] 外へ持出し ずかいから

**図書室** (~30人)

- こどもよくのち
- 各会議・部会 (体育・社会・産業・文化)
- ゴルフ 那岐山杯 花模様
- 那岐山王将子会
- 交通安全協会 那岐支部

**職員室** → 防災・ケイ報装置あり

**倉庫** → 町の防災備ちく

**玄関**

- もの置き(灯油...)
- 掲示

**事務所**

- 公民館受付
- いけいけ振興協議会事務局
- ※多数の団体がここに住所を記している。

**小会議室** (~10人)

- 女性消防
- コテキ隊
- 代わり託児
- 酔っ払いの寝る
- のみ会
- フジ会会場
- ミニデイ
- 公民館総務
- 事務所会議室
- コーヒに近い
- アムアム合
- 人事
- 濃い話し場 / 外にも出でる

**カフェ** (~10人)

ITJのついで、前ではなかった。

# 2階



↑ テナントとして利用 → 収益  
 ↓ 現状は消防の都合  
 規模不特定多数不可  
 ・和室と避難時や  
 鬼の目や  
 福島 kidsの入れ  
 に使用してこがある。

## 体育館 ~100人~

- ・運動会の下着会場、もの置き
- ・バレーバドミントン卓球大会
- ・バレーバドミントン (各種スポーツ)
- ・貸体育館
- ・ナギフスター雨天時飲食ブース
- ・敬老会会場 10/A
- ・婚活会場
- ・消防大会雨天時

ボールもあり

## 運動場

- ・運動会
- ・バドミントン駐車場
- ・消防操練
- ・クラブゴルフクラブ
- ・親子会でテニスコ
- ・ゴルフ77校
- ・もの置き

- ・小学校文部
- ・中学校
- ・那岐福祉会
- ・那岐地区不設福祉社会
- ・那岐地区同和推進協議会
- ・那岐地区公民館
- ・いざなぎ振興協議会
- ・しほり保存会
- ・地区の婦人会

## ヒヤリングによる聞き取り

- ・ ワークショップの前に数回にわたり地域のキーマンに話を伺った。

### 50代～

- ・ 地域の仲が良く、コミュニケーションが多いこと、それを誇りに思っている。
- ・ 若い世代にも頑張ってもらいたいと思っている。
- ・ ゲストハウスがあるといいと思うが、行ったことはない。
- ・ 大学生と一緒にやるのはどうか
- ・ 生活に困っていない

### 30代～

- ・ 今の仕事が気に入っている
- ・ まだまだ上の世代が元気
- ・ 那岐に限らず、智頭をベースに仕事をしている。
- ・ また、お父さん世代になったときに、担うイメージがある。
- ・ 次の世代に負担にならない、地域に必要な施設になるよい。

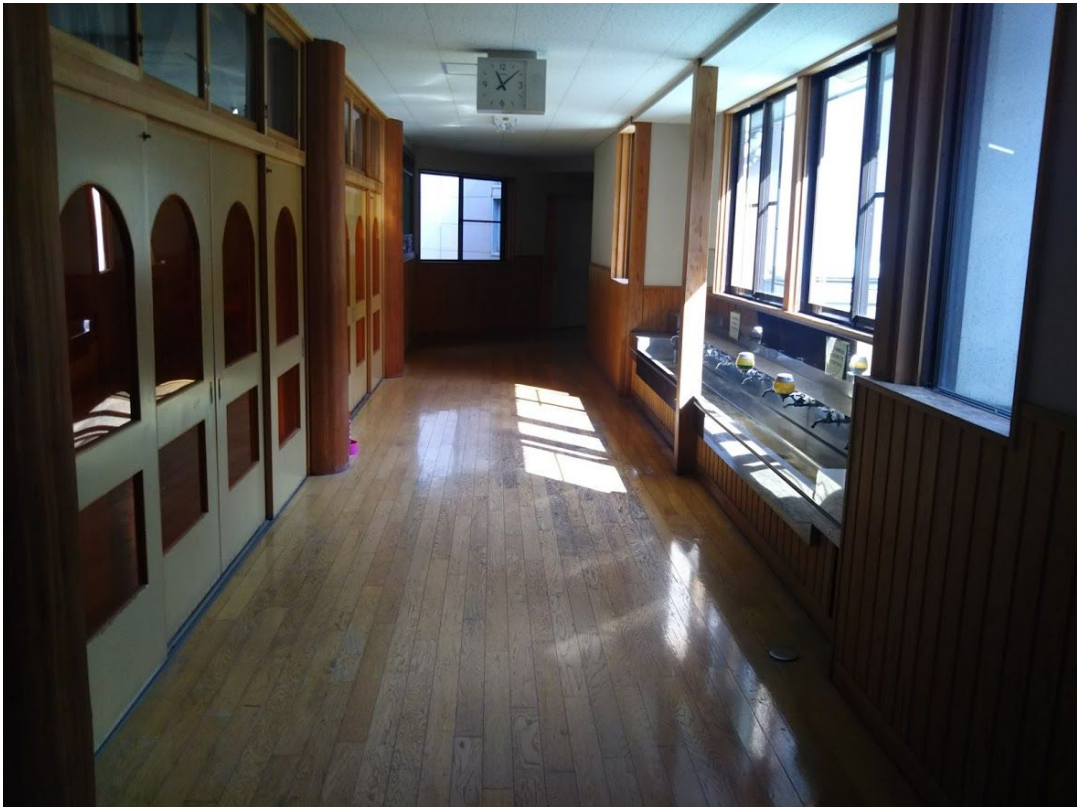
★誰がやるか、ということが引き続き重要な課題となっている。



## 現況写真







## 4. ワークショップについて

### A. 概要

- ・ 目的

地域の皆さんが思い描いていることを引き出し、専門家の視点を加えることで、選ぶことと、手放す考えを整理していくこと。また、ワークショップには誰でも参加できるようにし、新たな意見が出てくることや、関わる、利用する方が増える糸口となるようにする。

- ・ 日時

平成30年11月4日

- ・ 場所

旧那岐小学校 多目的ホール

## B. 議事録

10 : 00-10 : 20

### ■開会

- ・今日の趣旨とスケジュールの共有
- ・いざなぎ振興協議会 会長の挨拶

10 : 20-10 : 40

### ■那岐小学校の思い出 -那岐小学校ってこんな場所（1人1分で）

- ・産業文化祭で売店の駄菓子やうどんを食べた思い出があり、笑い声で溢れていた。
- ・6年生のとき旧校舎が新しい校舎になったことが印象的である。
- ・掃除や草刈りなどPTAの行事にたくさん行った。
- ・親として娘が小学校に通っており、運動会に行った。
- ・2世代、3世代の敬老会があり、集いの場となっている。
- ・地元の木で校舎をつくった。
- ・池には魚がいて指をかまれた思い出がある。
- ・小学校は日当たりが良い場所というイメージがある。
- ・お泊り会での夜の小学校が楽しい。
- ・飲みニケーションで飲みに来る場所。
- ・誰かがいるから立ち寄りやすい。
- ・卒業した息子が体育館を借りて遊んだ。皆が帰ってくる/帰ってきやすい場所。
- ・水道管が破裂した。
- ・竹とんぼをみんなで作った。
- ・机をみると懐かしさを感じる。
- ・大人になってからは飲む場所
- ・親としては子供が育った場所
- ・運動会など人が集う場所
- ・飲み会でいろんなアイデアが出てきた
- ・PTA活動を盛んに行ってきた
- ・当たり前にあるもの
- ・校歌の看板をつくった
- ・出店のにぎわい
- ・産業文化祭の思い出
- ・長野オリンピックをみんなでパブリックビューイングした。

10 : 40-11 : 00

■思い出から感じること（住民の思い）

- ・ 同窓会を行い、外の人となっても戻ってくる場所
- ・ ここに代わる場所がなく大人数が集まったり、イベントをしたりする。
- ・ 調理室や体育館は使用頻度が高い。
- ・ 食べたりすることが絡むと人が良く集まる。
- ・ 子供たちが中心となるイベントはとても賑わう。
  
- ・ 長野オリンピックのジャンプをみんなで見えた記憶
- ・ 昔遊びを地域の方から教えてもらった記憶
- ・ 冬になると凍結で水道管破裂した
- ・ 卒業生が体育館で遊ぶ、帰ってくる場所
- ・ お泊まり会、肝試しなど夜の小学校が面白い
- ・ 日当たりの良い場所
- ・ 大人になって第2の就職先
- ・ 地元の木を作り、木に囲まれた学び(校舎)
- ・ 川や池で遊んだ思い出(魚獲り、鯉)
- ・ PTA活動の思い出
- ・ 敬老会や運動会など昔からの行事が続く良い場所
  
- ・ 卒業生が結婚式のサプライズ映像をここで撮った方もいる
- ・ 大人になって戻ってきて懐かしい校舎(場所)
- ・ 同窓会を2回ほど開催した(思い出の場所で)
- ・ 集まりたい場所、他にそれに代わる(使える)場所がない
- ・ イベントはこれからも残って欲しい
- ・ 子供たちが集まるイベントはとても賑わう
- ・ 住民が集まる場所と収益も上がる場所が希望
- ・ 調理室はとても活用されている(人数規模が大きい時は特に)
- ・ 体育館もとても活用されている
- ・ (総括する3つの重要なこと)

①使い勝手、集まりやすい機能(設備)がある

②住民の皆さんの気持ちの面で、大切な思い出の場所

③大人数でイベントや催しができる場所

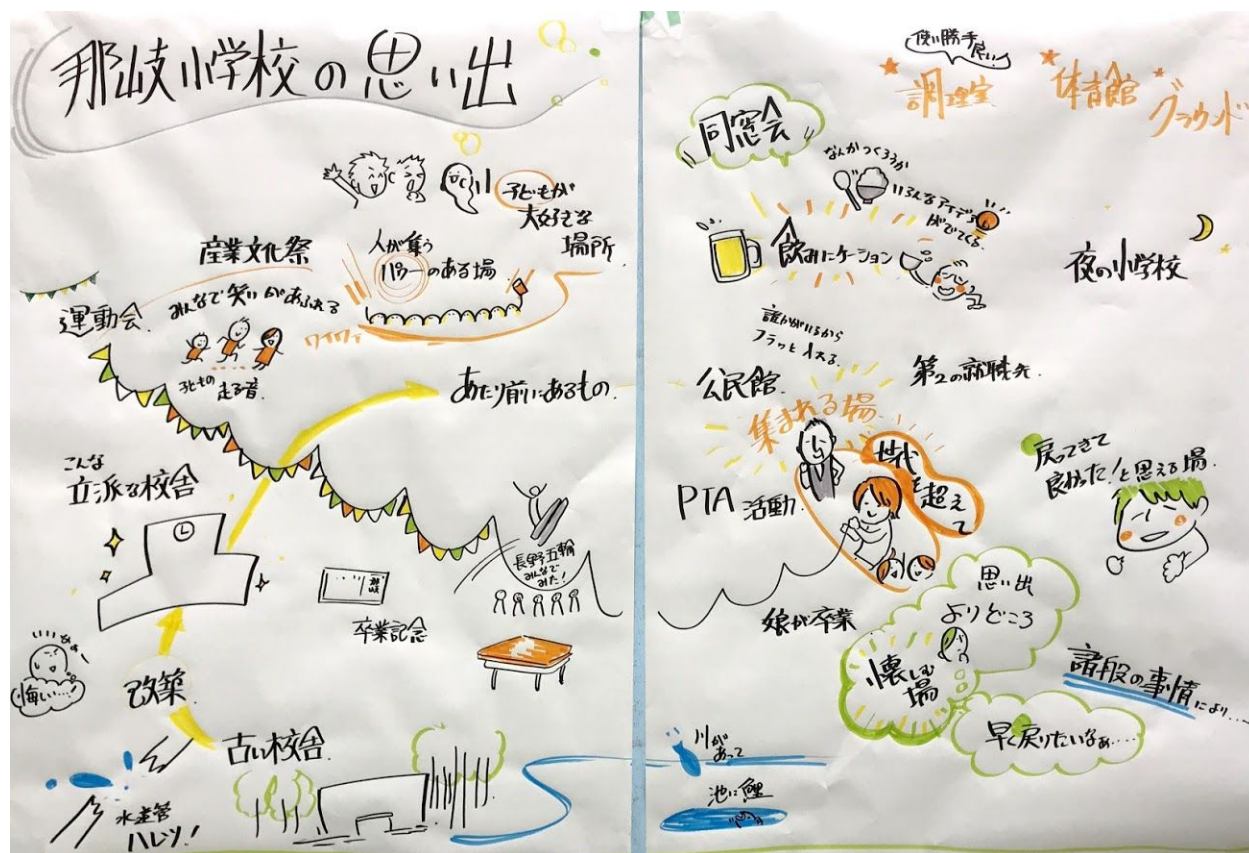
子供が集まることで、家族も集まる地域の場所

大人の飲みニケーション、同窓会や会食の場所

11 : 00-11 : 05

■休憩





11 : 05-11 : 15

### ■全国の廃校活用事例の紹介

- ・ 地方で活用されている廃校事例（貼りだし事例）
  - ・ ソーセージの加工所にする
  - ・ 研究所にする
  - ・ 道の駅化する
  - ・ サッカーの誘致
- ・ 前回出てきた活用アイデア
- ・ 数年前アンケートで示された活用方法案

- ・ 数年前アンケートで示された活用方法案

- ・ 貼り出した事例やアイデアの賛同にシール貼り
- ・ 目的のために、何をするか理由付け
- ここに上がってない新しいアイデアもOK
- ・ 貼り出しシールの統計(方向性)を見て

11:24~11:36

活用目的意見が多い

### 住民の多様な活動や交流支援

- ・ 地場産業の振興に寄与

### 住民の就業支援

#### 使い方、機能(意見が多い)

- ・ 防災拠点
- 温泉、銭湯、キャンプ場、外便所、
- ・ スケボー、麻雀等娯楽
- ・ 宿泊施設

#### 住民アンケート(意見が多い)

- ・ いざなぎ事務局として活用
- ・ 宿泊施設
- ・ 図書館、資料館、コミュニティー

### 総括

- ・ 使い方としては、公益性が高いものが多く支持
  - ・ 活用目的としては、地場産業に寄与など収益性の方向も
- 情報が集約されることは、観光や地場のハローワークなど拠点的な役割を果たす泊まりたくなる場所  
のんびりできる場所、快適な空間  
イベント、集いの場  
人が集い遊び学ぶ場所  
多種多様交流拠点、コミュニティスペース  
地域の歴史を伝える場所  
地域産業の省力化  
困った時の駆け込み寺  
防災拠点、長期滞在防災拠点  
大きな家
- ①目的  
イメージを言葉にして貼り出す  
②そのために何が(機能、用途)が必要かを1メッセージで  
①なんのために(目的)を1メッセージで

11 : 15-12 : 12

### ■貼りだした事例やアイデアの賛同にシール貼りとディスカッション

得票数が多かったものは

目的...住民の交流、地場産業の振興	等
機能...防災拠点、いざなぎ事務所、外便所	等
そこから多様性あるペアで議論、想いを共有した。	

## 学校利用の例

何か必要  
道の必要 負担する人

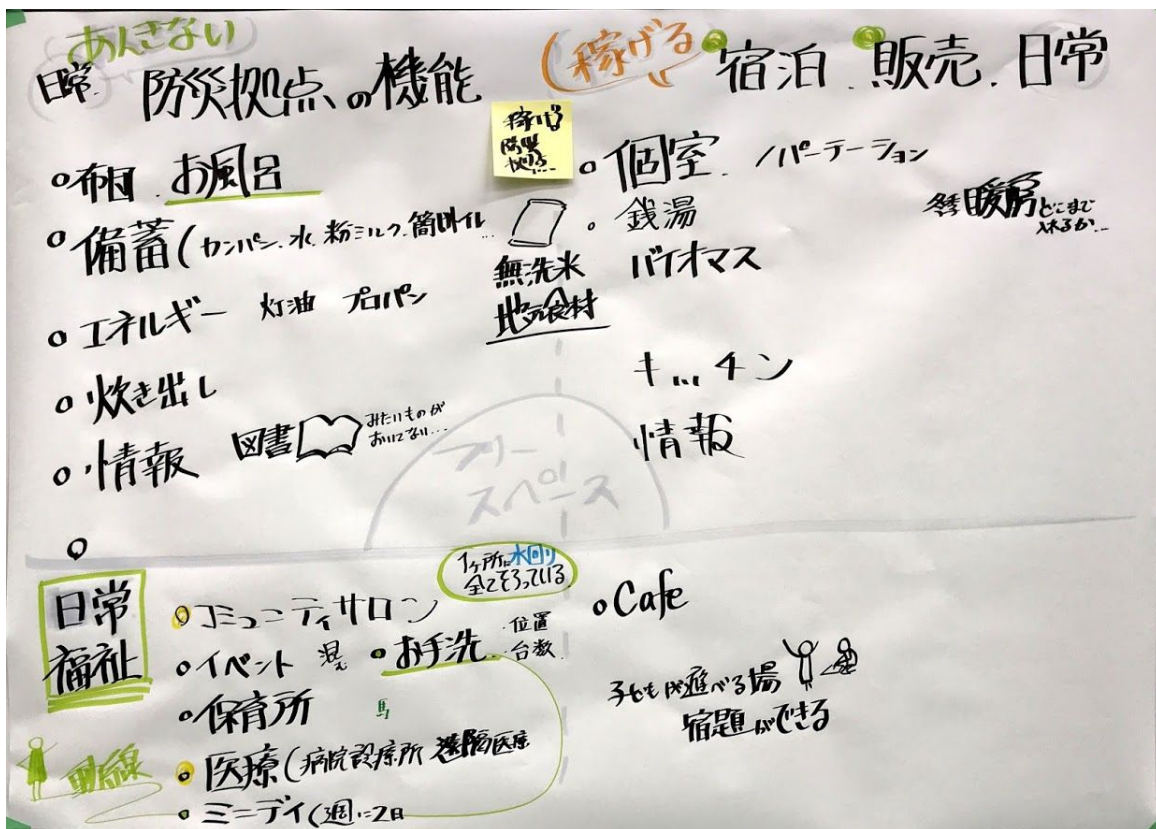
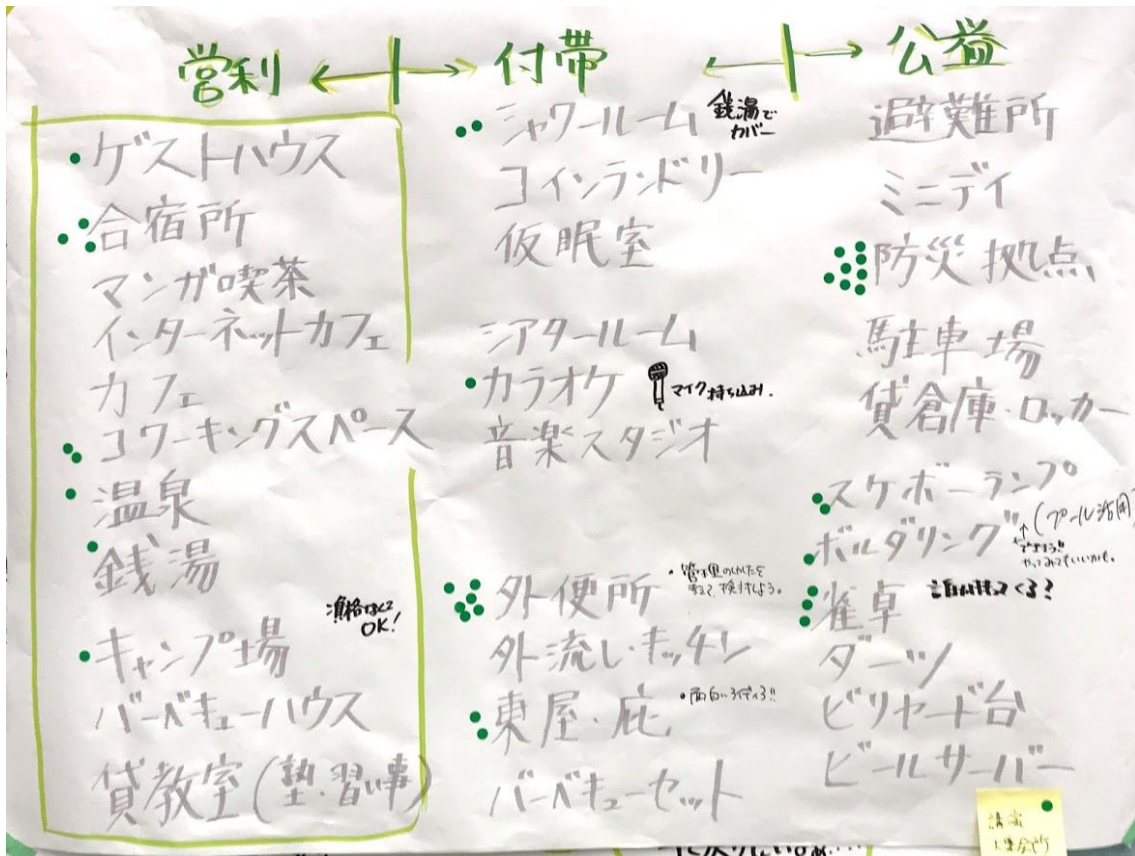
- ① 住民の多様な活動や交流を支援
- ② 都市部との交流促進に寄与
- ③ 地場産業の振興に寄与
- ④ 地域の人口増加に寄与
- ⑤ 新たな人材育成に寄与
- ⑥ 住民の就業を支援
- ⑦ 高齢者の健康増進に寄与

項目	内容	備考
1	...	...
2	...	...
3	...	...
4	...	...
5	...	...
6	...	...
7	...	...

## 以前の住民アクト

- いざなぎ事務局 及び 公民館事務所
- 商店 (特産品直売等)
- 山村レストラン 近くにレストラン  
できたので今とネットと時と状況  
がかわ...
- 図書館・資料館
- コミュニティサロン・子供たちの部屋
- 工房・体験教室・いぬ事務所
- 宿泊施設 (観光客・大学生等・体験旅行)
- 福祉関係施設 (サービス・ミニデイ)
- 企業誘致
- 上記を盛り込んだ複合施設









11:36~12:12

- ・ディスカッション-・付箋紙で書きながら発表  
「統計を見て、どんな場所にしたいのか?」
- 2人1組で、ディスカッションを試みる
- ・ギャップがあることに関して、専門家視点を踏まえ

目的	機能
野菜の物々交換	大きなはなれ
お母さんや赤ちゃん、老人のため	コールセンター（生活相談室）
地場産業の振興	野菜や米の販売
	役場機能
智頭病院まで遠いので	診療所
林業振興	体験宿泊・合宿
耕作放棄地の解決・農業振興	関西方面の販売窓口
いつでも軽トラ市・イベント	大きなひさし
地域の歴史を知る	郷土資料館
長期滞在防災拠点	ねとまりができるようにする
誰でもくつろげる	コミュニティスペース
駆け込み寺的な場所	誰かがいる、防災
	ハローワーク/日雇い
	泊りたくなる風呂と布団
	人が集い遊んだり学んだりする
	大きいお風呂
	地元食材が買える、売れる場所

12 : 12-13 : 00

■昼休憩

ジビエカレーを頂く



13 : 00-15 : 53

■即日設計&経営計画を実施し改築プラン（案）を  
午前中の総括から防災拠点としての機能から考えてみる。  
しかし、実際に自走していく施設とするため、経営的にはどうなのか。

「あんきない」=安心できる、のんびりできる 施設にする

- 進行1 : 出ている案のなかで最大の収益となるのは「宿泊」であり、宿泊をするということは、ただ泊るということではなく、それにともなう食事や、お土産を買うなどの波及的効果大きい。
- 進行2 : 宿泊ということになると外から人を呼んで稼ぐということ。しかし、住民の方の機能の充実も必須である。  
→「防災拠点」というものを分解する
- ・布団があること
  - ・風呂があること
  - ・自炊できるキッチンがあること
  - ・エネルギーがあること（灯油・プロパン・バイオマス）
- ...備えているものが売り物になるのでは？日常と行き来して稼ぐことができるように
- 会長 : 高齢者の福祉や、子育て等の側面も含めて考えてほしい。
- 進行2 : お風呂の提案
- 進行1 : 宿泊機能と銭湯機能の説明  
24時間にすると8時間勤務で1日に3人必要（シフト制にすると考えてあと2.3人必要）+掃除の人1人と考えると7人くらいの人が必要。  
日中のみにするというのもある。
- 地域の人もお金を払う施設にするのか、外の人が払う施設にするのか-
- 進行2 : 玄関を交流スペースにして、多目的ホールに銭湯を配置  
→図面反映
- 住民 : 多目的ホールは残してほしい。イベントやお化け屋敷、PTA行事などがある。また体操などで人が集まるので...  
智頭にもうひとつお風呂屋さんがあって、維持が大変というのを聞いた。
- 住民 : お風呂や有効なツールだと思う。～さんの家に行かないと会えないけれど、お風呂で出会えるし、お風呂はみんな入る。
- 進行2 : 地元の人と、外からの人の値段差をつける。
- 進行1 : 全国平均の料金が440円で、そこから値段差があるときの収益試算について説明。

その後、増築するとエレベーター設置が必要になるため、増築せずにうまくおさめていくことを前提に現状の不便な点や未来的にどういうものがあればいいか、未来的に無理がでてくる機能はないか検討とまとめ

- ・テナント用の入口は必要か？→今あまり不便にしていることはない
- ・施錠の問題
- ・調理室のバッティング→上げ膳据え膳は厳しいので宿泊の人も使うようにする  
→ならさらにバッティングするのでは？調理台の配置検討、台貸し
- ・外キッチンが必要か
- ・家庭科室と外のBBQなどの連動が不便。→家庭科室の位置検討・2部屋あった方が

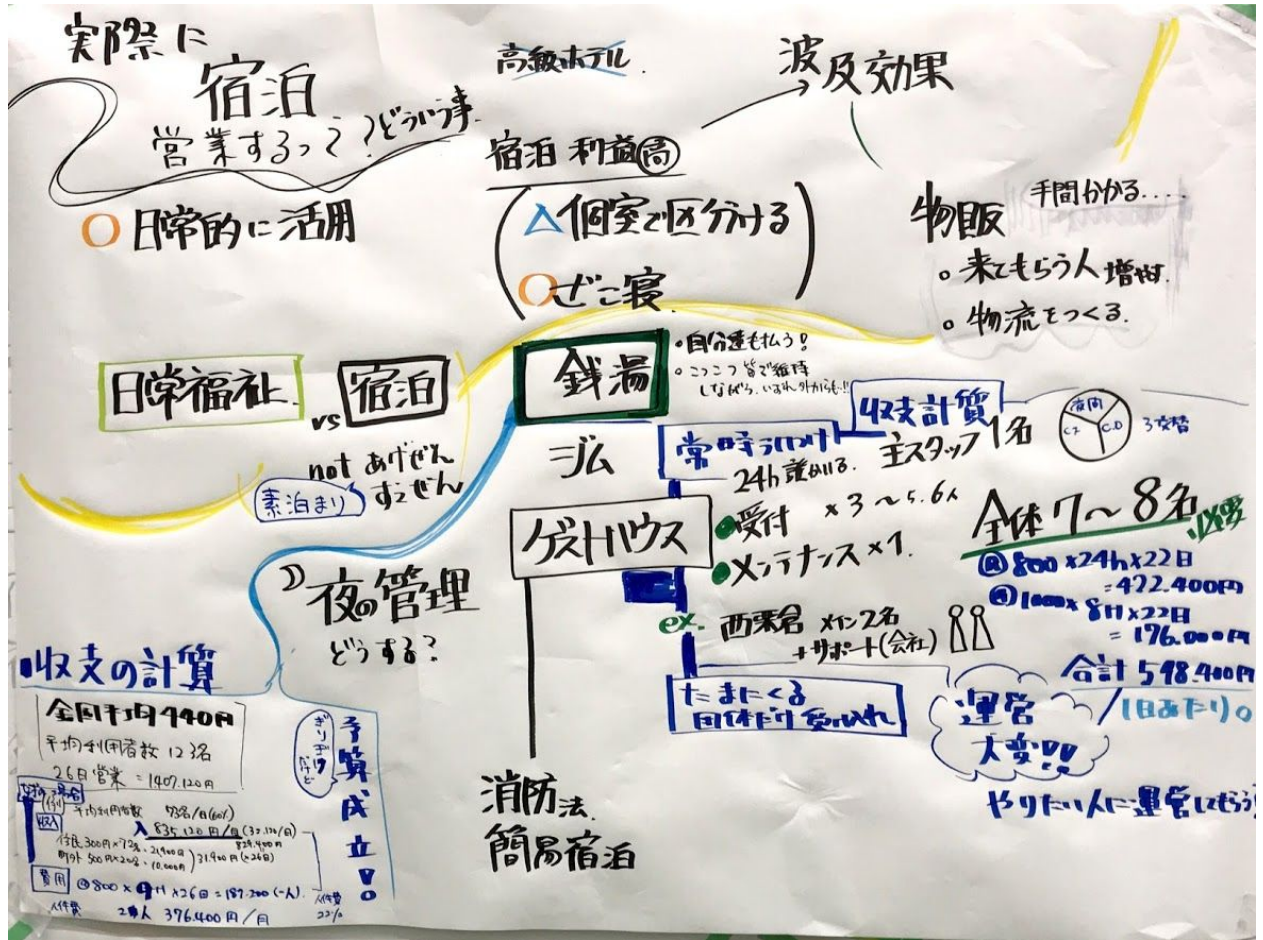
良い？

- ・保健室はミニデイの部屋に
- ・拠点とする団体の物置（ロッカー的な）があるとよいのでは？
- ・放送室のスタジオはいらない。
- ・スライドが使えるミーティングルームが必要では？ 貸会議室的な
- ・カプセルホテルのような形式はどうか
- ・2Fにテナント用の給湯室

- ・森林セラピー+銭湯
- ・登山+銭湯
- ・タルマーリーさん+銭湯
- ・疎開保険+銭湯

のようなストーリーがたくさんできるのでは

現在も、皆がつかっている、公民館としての機能も残す。  
共助交通や配食サービスの拠点となるように進めたい  
雨の日に子供が遊べる場所が欲しい





どの方向に定めていくか…?

キャンプ場・ゲストハウスなど宿泊を伴う施設を主とすると、初期費用



夜営業のためのスタッフ (地域感覚とはズレる)

外から人を呼びよせなければならぬ…

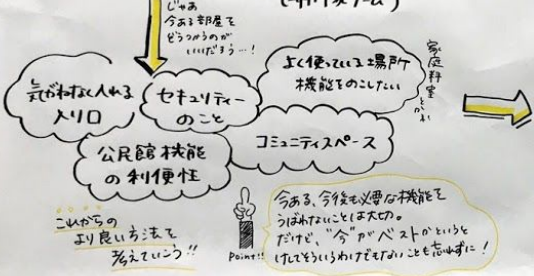
銭湯



地元の人たちが使いたい機能

あつまりやすい場所 (町民割引) あるいは行けばだけかいる場所

- Q. 増築はいいですか?
- A. 学校よりも馴染み深い施設。増築には様々な規則もある。さらに広くなるためにお金をつぎやりに今ある施設をつかうのをオススメします。(専門家チーム)



想像上のキャンプ場PT  
あんまりし、突っ込んで来たのは別次元

人が集うことで  
かたみ寺のようになる!



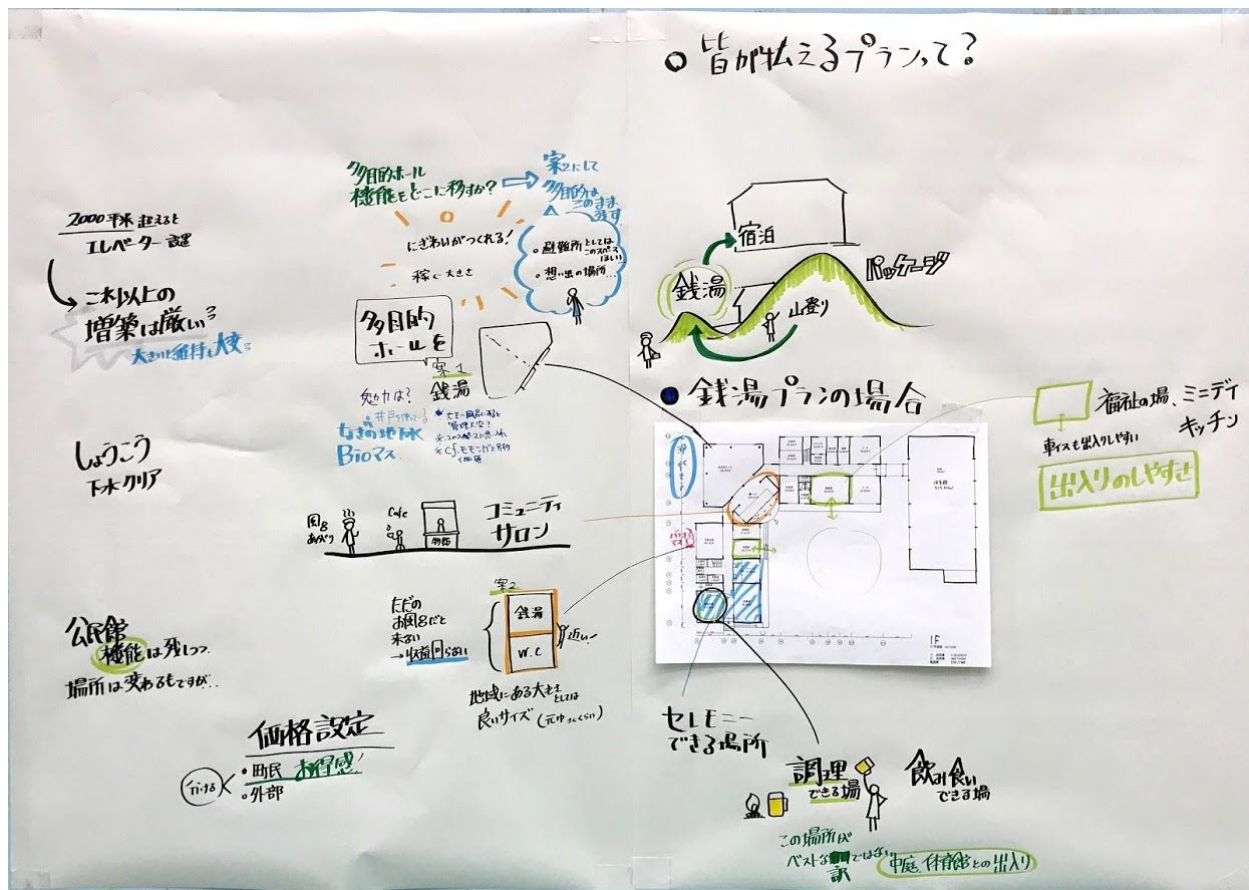
今使われている機能をそのまま  
よに今ある施設をつかうと…  
(現) 中会館 → 銭湯 にしてどうかな?

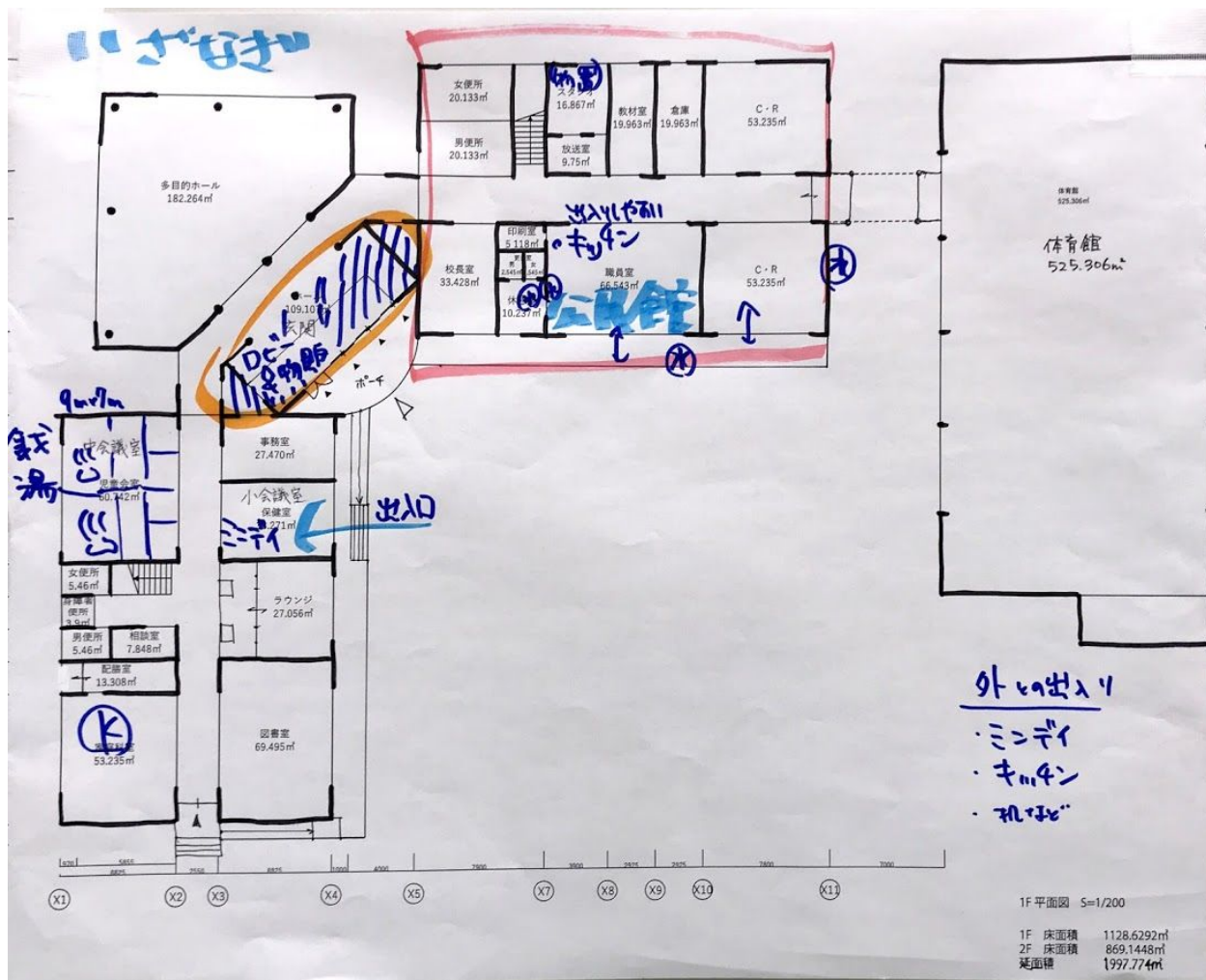


↑

銭湯以外のスペース (2Fあたり) にどう考えをたげたいかな?

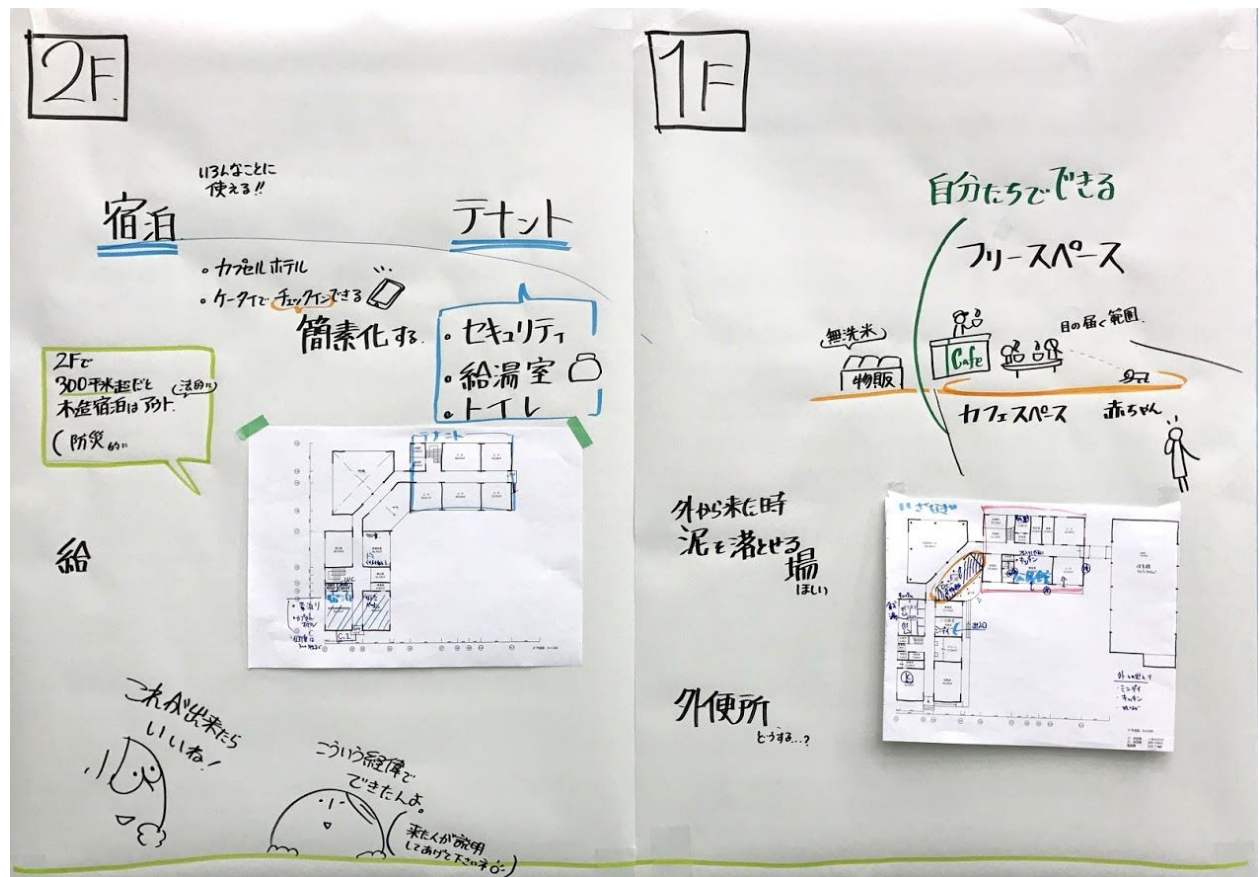
宿泊という意見はいいけど、何が必要? 何がある? 自分たちがいい場所、守りたい機能を担えるか、視野を広げたいかな?











- 本日のまとめ (1人1分感想)
  - ・固定されていたイメージが壊れる、発見的な会
  - ・20年後自分たちが心地よく
  - ・小学校という感覚はなくなってきていて、新しい歴史を
- 撮影・解散



# 2018.11.4. 那岐小 利活用Work Shop

10:00

## 那岐小のこれまで

- 本社の使い方
- 自己紹介と思い出

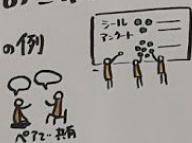


16:00 終了

11:00

## 那岐小のこれから

- 本校利用の例



13:00

## 新しい活用方法作り プロセス体験



12:00

お昼



## 5. 総括

当該建物は、現在も熱心な地域住民によって愛され、利用されている。同時に、地域からの声としては、もっともっと沢山の世代に利用しやすい施設になるとよい、という想いが届けられた。また、前提として、この建物を地域で維持管理していくために、営利機能が必要であるということが、地域に浸透する機会となったように思う。

ワークショップを通じて、導き出された建物の目的の一つに『あんきない大きな家』というワードがあった。あんきない、というのは地域の方言で、ストレスがない、ということの意味する。また、今年、大雨による災害により、当該建物を避難所として利用したことから、この先に大きな災害があっても、この場所に来れば大丈夫という場所、地域の皆にとっての第二の家となるとよい、という提案である。

老若男女が楽しめ、地区の人でも有料であることに抵抗がないもの、そして家に必要なもの、ということで、中心に据える機能は『銭湯』となった。智頭町は、視察や観光に訪れる人も多いが、予約なしで入れる銭湯や温泉はなく、隣村の西粟倉村の温泉を利用している人も多い。また、地区の30代のメンバーの中に林業を生業としている方がいることから、熱源を薪ボイラーとしてはどうかということになった。智頭町は歴史ある林業地であり、当該建物は井戸を利用することも可能である。これらの組み合わせで、万が一インフラが断たれたときにも地区の方が入浴できる仕組みを考えたい。資源の地域内循環、経済の地域内循環に取り組むことが可能になる。しかしながら、銭湯だけで採算を合わせるのはかなり難しいという試算結果となった。また、災害拠点として、安心して寝られる、ということと両立させるために、「農泊」や「ゲストハウス」という、宿泊機能を持たせたいと、意見がまとまった。宿泊できる場所ができることで、全国的な知名度を誇る、タルマーリーのビールを飲んで、泊まっていくお客様や、大学生の合宿の受け入れ、体験型の農泊なども展開できる。当該建物が、地域のハブとなっていく。智頭町の取り組みとして、疎開保険などもあり、こちらとの連動なども期待できる。

また、現在ほかの場所にあるミニデイなども統合できないか、という意見や、ここが共助交通や配食サービスの拠点となるように進めたい、雨の日に子供が遊べる場所が欲しいとの意見もあった。企業も利用できるルールを作ってほしいとの意見もあった。老若男女が訪れやすい銭湯を中心とすることで、利用への心理的ハードルをさげ、地区の方がより集まりやすい場所となることで、お互いに助け合えるそのような場所になることが期待される。

お試し宿泊や共助交通といった事業について、主要メンバー及びWS内で検討したものの、宿泊、共助交通等の試行には至らなかったが、基本計画（構想）では今後上記事業実施も視野に入れた内容となっている。

また、本事業を通じて、共通認識となったことは、誰が運営するのか、という課題である。これについても、いざなぎ振興協議会を中心に一般社団法人等の設立または運営者の募集などを進めていくことに合意した。

最後に、那岐地区は智頭町の中でも「あつい」地区である。これまでも、地区のために集まっては企画をし、もろもろのイベント等を運営してきた。この人と人のつながりを活かし、当該施設を通じて、さらに、助け合える仕組みができる。本事業を通じ、これが実現するよう邁進していく、皆がそう想いを強くしたように思う。